



後山を背にして広がる生
品には、武尊山や子持
山、三峰山、戸神山など
の美しい峰々を一望でき
るビューポイントがたく
さんあります。歩きなが
ら折々の美しさに浸るの
も一興です。



田園理想郷 時代

No. 15
2023.2.1

川場村議会広報 通巻第70号



| | |
|-------------------|-----|
| 12月定例会 | 2~3 |
| 一般質問 | 4~5 |
| 視察研修・広報研修会 | 6 |
| こども議会・全員協議会・議会の動き | 7 |
| ぼいす・編集後記 | 8 |

安全・安心の医療・介護実現のため 人員増と処遇改善を求める意見書を 国に対して提出

12月定例会は7日間の日程で開催され、条例の制定3件、条例の一部改正9件、補正予算1件、その他2件、専決処分3件、議員発議3件が審議され、いずれも原案のとおり可決となりました。

■条例

- 川場村個人情報保護法施行条例
個人情報保護に関する法律の施行に伴い、川場村個人情報保護法施行条例を制定するもの **(全員賛成)**
- 川場村情報公開・個人情報保護審査会条例
個人情報保護に関する法律の改正に伴い、個人情報保護制度の適正かつ公正な運営を確保するため、川場村情報公開・個人情報保護審査会条例を整備するもの **(全員賛成)**
- 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例を整備するもの **(全員賛成)**
- 川場村議会議員及び川場村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、選挙運動用自動車の使用等、関連する条例の一部を改正するもの **(全員賛成)**
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 **(全員賛成)**

■専決処分

- 沼田市外二箇村清掃施設組合の規約変更に関する協議 **(全員賛成)**
今後、利根沼田広域市町村圏振興整備組合において、ごみ処理に関する事務を実施することとなったため、組合規約の一部を変更するもの
- 令和4年度川場村一般会計補正予算(第4号) **(全員賛成)**
- 令和4年度川場村水道事業特別会計補正予算(第2号) **(全員賛成)**
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付を受け、生活者や事業者に対する支援事業を実施するため、専決処分したものと令和3年度補正 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 川場村新拠点(役場庁舎等)における木質バイオマス熱利用設備・太陽光設備導入事業の請負契約
川場村新拠点における木質バイオマス熱利用設備・太陽光発電設備導入事業において、関東建設(株)と5千950万円で工事請負契約の締結を実施したもの **(全員賛成)**

■発議

- 川場村議会の個人情報の保護に関する条例
個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、川場村議会の個人情報保護に関する条例を制定するもの **(全員賛成)**
- 川場村議会の個人情報の保護に関する条例施行規則
川場村議会の個人情報の保護に関する条例の制定に伴い、施行に關し必要な事項を定めるもの **(全員賛成)**
- 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書
国に対し意見書を付けて内閣総理大臣ほか3名に提出するもの **(全員賛成)**

特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 **(全員賛成)**

川場村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **(全員賛成)**

川場村第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **(全員賛成)**

川場村第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 **(全員賛成)**

人事院勧告の趣旨に沿い国に準じた改定を実施するため、条例の一部改正をするもの **(全員賛成)**

川場村公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例
改正後の個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、川場村公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正するもの **(全員賛成)**

川場村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部改正をするもの **(全員賛成)**

川場村情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例
川場村議会の個人情報の保護に関する条例の制定に伴い、条例の一部改正をするもの **(全員賛成)**

補正予算
令和4年度川場村一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出それぞれ5千343万円を追加し、総額を42億8千298万9千円とするもの。主に基金への積立金、光熱水費、道路の維持補修費 **(全員賛成)**

その他
利根沼田広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議 **(全員賛成)**



みなさんからの 陳情 審査結果

| 番号 | 陳情者氏名 | 件名 | 紹介議員 | 付託委員会 | 審査結果 |
|----|-------------------------------|---------------------------------|------|-------------------|------|
| 4 | 群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 出浦匠人 | 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書 | | 総務文教 常任委員 会 | 採択 |



新木 敏郎

村政を問う 一般質問

マイナンバーカードの 本村の交付状況は

新木議員

本村におけるマイナンバーカードの普及率と、年別の交付数はどのような状況か。それを県内市町村と比較した場合どのような位置にあるでしょうか。また、15歳未満の子供についてはどのような扱いになっているでしょうか。

村長

10月末時点での交付率は44.4%です。年代別では、40代から60代は5割以上、80歳以上は2割強、10歳未満および10代は4割弱です。

本村の交付率は全体で44.4%とのことですが、これは群馬県全体の交付率とほぼ同じです。また、17位という順位は県内では平均的ですが、群馬県自体が全国で45位ですから、村としてももう少し頑張っていただけだと思います。

新木議員

また、年代別の交付率については、低い年代に対してはなるべく努力してほしいと思います。

交付数が伸びない大きな原因は、個人情報漏えいや他人による悪用の心配などですが、安全性やメリットについて、周知徹底すべきと思いますが、どうお考えでしょうか。

村長

広報かわばや回覧板等で周知していきたくと思っています。10月以降職員が家庭訪問をしたり、ワクチン接種会場での申請、またいろいろ方法を使ってしっかりと対応し、向上していくように努めてまいります。

新木議員

前向きに検討していただけることを期待します。なお、コンビニ交付という制度もありますので、導入を検討していただくよう要望し、質問を終わります。

今後の村づくりと 来春の統一地方選の対応は

新木議員

外山村長は2期目の村長選挙立候補に当たり、新たなビジョンによるむらづくりを実行すると公言されました。その中には、新拠点構想のように道半ばの構想もあります。このような状況下で、令和5年4月には村長の任期満了を迎えますが、今後の村政にどう取り組むか、そして、来年の統一地方選に対して、村長ご自身はどのような対応をされるのかお伺いします。

村長

新拠点構想の中で一番の事業は新庁舎建設ですが、令和5年秋には庁舎完成と移転のめども立つところまでまいりました。川場ふるさと人材育成構想推進の中小一貫校構想は、令和7年4月の開校に向けて調整を行っています。

林業成長産業推進では、低質材収集運搬システムの構築、森林作業の効率化実践、獣害被害低減などの事業を行っています。

また、地域産材利用の促進では新庁舎への村有林の木を主要構造材として活用しています。

その他、水源地域森林公有化に取り組み、村営川場牧場を新設しました。竹林や里山の整備による環境保全と有害鳥獣対策も進めて

います。子育て環境の整備・高齢者生きがい対策の充実、雇用の確保では、ニュータウン川場の11区画が完成、43名の新住民が誕生しました。6棟の民間アパートには18名が入居しました。

雇用の場の確保では、水製造工場新設、きのこセンターや小水力発電所建設などで新たな雇用の確保に努め、高齢者福祉対策では、高齢者保健福祉計画を策定しています。

まだまだ仕事が残っているのも事実ですが、最善の努力を続けていきたいと思っています。

来年の統一地方選挙の対応については、後援会の皆様と相談し、態度を表明したいと考えています。

新木議員

前向きな姿勢に期待しますが、進退を明言されませんが、意欲的に臨まれるようご期待申しあげます。

人材育成について伺いますが、専門的な知識が必要な林業では、森林組合や民間の林業関係企業を活用する方法もあるのではないかと思います。いかがでしょうか。

村長

現在、林業にも若い人材が参入する状況になっています。あらゆる方策を練って、人口減少対策の一助になるよう努めてまいります。



星野 孝之

「Jazzが流れる川場村」を テーマとした村づくり

星野議員

村内で芽吹き始めた「Jazzが流れる川場村」という文化創造に、今後村や新しい教育現場を模索している当局が考えられる取組や展望があればお伺いしたいと思います。

村長

Jazzを生かしたむらづくりというのですが、Jazzに限らず、ジャズに関する音楽的なつながりや土壤あるいは将来的な浸透性というものを考

えますと、今後の展望ということではすぐには判断できないと考えています。

一方で、音楽を通じての文化的な活動を活性化させることは、村民が音楽に精通し、参加する機会を増やしたり、総体的には「音楽のある村」として文化力向上にもつながり、さらには村の格である村格の向上にもつながるものと考えています。

また、そのことは例えば夏休み返上で

川場村の「持続可能な農業」の実現

星野議員

国による緊急対策、肥料価格高騰対策ですが、措置されたものの農家を取り巻く環境は依然厳しい状況です。今後、村独自の生産資材高騰支援策の考えはあるのか。また、川場村の持続可能な農業の実現に向けての今後の村の取組についてお伺いします。

村長

川場村独自の生産資材高騰支援策、非農家問わず、村民の方々が原油価格、物価高騰に苦しんでおられる事情に鑑み、地方創生臨時交付金を活用して、10月に川場村共通商品券を全世帯全員に配布しました。これは村民1人当たり1万2千円分です。ただし、JASスタン

料費等にあってがえなかったことは、大変申し訳なく思っています。

ほかに、同じく地方創生臨時交付金を活用して、川場村特別定額給付金の給付を実施しています。給付対象者1人につき5千円の現金を、世帯主名義の銀行口座に世帯員全員分入金するものです。円安の影響、ウクライナ情勢の悪化など、今後も厳しい原油、物価等の高騰が懸念されると思いますが、村としては、引き続き基幹産業である農業経営をはじめ、村民の皆様の生活を支えるべく支援策を打ち出していきたいと考えています。

次に、持続可能な農業の実現に向けての村の取組ですが、川場村でも日本全国と同様に少子高齢化問題に直面し、高齢による離農により耕作放棄地が発生する事態は何としても避けなければ

練習に励み、毎年全国大会で入賞を果たしている川場キッズに参加し、演奏技術を身につけた子供たちの将来の活躍や活動の機会、あるいは参加する機会を増やしていくことにもつながります。

音楽イベントとして考えますと、寺社仏閣を会場にしたコンサートや地名を冠した野外コンサートなどは、規模の大小も含め各地で開催され、話題性を持った地域振興に生かされているケースもあります。今回吉祥寺を会場に開催したように、発想の転換により、村内の施設や景観を生かした川場村ならではのコンサートイベントが開催できるのであれば、特色ある村づくりへつながる可能性を含

なりません。

稲作につきましては、株式会社雪ほたかが稲作の担い手、受皿として期待をされているあかしでもあります。

畑につきましては、コンニャクの栽培を筆頭に担い手への集積が進んでいます。村営上宿原土地改良事業も担い手への集積集約政策の一環です。リンゴ、酪農につきましましては、担い手へのバトンタッチがうまく進んでいると思います。しかしながら、用排水路の老朽化による取水等における農村整備上のインフラ問題、後継者不在等により経営継承が困難なため、廃業の危機に瀕している農家の存在

担い手への耕作面積が過度に集中することによる労働力不足・過重労働等、懸念される案件も承知をしています。これらの問題につきましては、活用可能で有効性のある国、県等の補助事業の活用を

んでいるものと考えています。

今年開催されました2度のジャズコンサートは、村民の方や村内の事業所の皆様のご尽力により誘致、開催されました。村民の皆様主導によるこういった働きは、行政が及ばぬスピード感や機動力、影響力を持っています。村としましては、村民皆様からの発想や行動力に今後ともご期待申し上げますとともに、村としてできる限りの協力いたします。

取組や展望については、具体的にこの場で申し上げることはできませんが、音楽の振興も村の活力につながる一つのツールとなることは疑う余地のないことですので、今後に向けて取り組み方を模索していきたくと考えています。

視野に入れつつ、村で解決できるような施策を検討してまいりたいと思います。

また、農家による新しいチャレンジを応援していきたいと思っています。例えば、ゆうだい21の試験栽培を試みた結果、昨年の米・食味分析鑑定コンクールの国際総合部門で金賞を受賞することができました。

酪農産業につきましましては、川場田園プラザ内において、飲むヨーグルト、プレミアムヨーグルト、チーズ工房で製造されたフレッシュチーズ、または牧場独自でアイスクリーム販売、リンゴ農家、コンニャク農家も独自で加工品を製造販売、店舗経営するなど、六次産業のトップランナーとして頑張っています。村も後押しをしていかなければならないと考えています。

引き続き未来を見据えて今対応しなければならぬことはまず何か、しっかりと精査し、有効性のある施策を講じていくことが、川場村の農業を元気にして、未来へと持続をしていくものと考えています。

村政を問う 一般質問

こども議会で6名が村政に対し一般質問

こども議会は、未来の川場村を支える中学生議員（3年生）が、議会の仕組みや運営方法を実際に体験し、中学生ならではの視点で、村政に対し自らの考えを質問・提言するものです。

今回出席した中学生議員は31名、実際の議事進行方法に沿って日程が進められ、6名の議員からレベルの高い質問がなされました。



川場村議会 全員協議会

令和4年12月6日(火)に全員協議会を開催し、村長、副村長、教育長及び担当課長等出席の下、十分な検討・説明を受けました。

- 1. 地方公務員法の一部改正(定年延長)について
- 2. 利根沼田広域可燃ゴミ処理について
- 3. 役場新庁舎竣工関連事業について
- 4. 川場村第4次総合計画について
- 5. 川場村議会の個人情報の保護について

議会の動き

- | | |
|--|--|
| <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日 総務文教常任委員会 町村議会議員研修会 3日 川場村文化祭 6日 「第41回全国中学生人権作文コンテスト」 利根沼田地区大会表彰式 9日 群馬県町村議会議長会臨時総会 町村議会議長全国大会 10日 利根沼田地区におけるカーボンニュートラル勉強会 14日 利根郡町村議会議長会定例会 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会 利根沼田学校組合議員協議会 15日 産業振興常任委員会行政視察 18日 議会運営委員会 第1回川場村こども議会 19日 小学校バンドフェスティバル全国大会 22日 川場スキー場安全祈願祭 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会 沼田市外二箇村清掃施設組合議会定例会 利根沼田学校組合議会定例会 23日 利根沼田ロードレース大会 24日 議会広報研修会 | <ul style="list-style-type: none"> 28日~29日 川場村商工会視察研修 30日 第7回議会定例会(初日) 総務文教常任委員会 <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 6日 第7回議会定例会(最終日) 議会全員協議会 議会広報特別委員会 13日 川場村社会福祉協議会第2回理事会 18日 川場村役場新庁舎建設工事 立柱式 <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 6日 群馬県議会新春交流会 上毛新聞社 新年の集い 7日 川場村消防団出初め式 川場村新年祝賀式 8日 川場村二十歳を祝う会 9日 どんど焼き 12日 議会広報特別委員会 13日 群馬県町村議会議長会正副会長会議 16日 利根郡町村議会議長会定例会 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会 19日 群馬県町村議会議長会理事会 20日 川場中学校立志式 |
|--|--|



～行政視察報告～

- ◆ 視察の期日
令和4年11月15日(火)
- ◆ 視察の場所
群馬県片品村
及び戸倉ダム建設予定地

戸倉ダム建設再開に向けて

戸倉ダムは片品川や利根川沿川の洪水調節を行うとともに水道水の開発や、既得取水の安定化や河川環境保全などを目的として、昭和57年に建設が計画されたが費用負担や実効性などの問題から中止となっていた。

しかし、近年の洪水被害が多発する中、19年前に中止された戸倉ダムの事業再開を要請するために、ダム予定地域の5市町村(片品村、沼田市、川場村、昭和村、みなかみ町)の首長、議長をはじめ、国会議員、県議会議員らが参集し建設促進期成同盟会を立ち上げた。会長には片品村長が就任し、川場村長は監事に任命された。本村産業振興常任委員会でも実情を調査するため片品村役場及び建設予定地の視察を行った。

当時の総事業費1230億円のうち、用地買収、工事用道路工事、地質調査など299億円を建設中止までに投資した。加えてダム予定地の大部分を現在の水資源機構が保有しているため、新たな土地買収が少ないなど計画再開に向けたメリットも多い。また建設再開に向けて地元住民の意見を吸い上げ、議会特別委員会により提言している。

今後、利根沼田一体となって気運を盛り上げていく必要がある。ダムが完成後は国土強靱化、首都圏の防災、治水効果だけでなく、地域の観光、経済にも影響を与える大きな地域活性化の起爆剤となる可能性を感じる。

(産業振興常任委員長 星野孝之)



群馬県町村議会広報研修会

日時/令和4年11月24日(木)
会場/群馬県市町村会館 2階大研修室

「住民に読まれ、伝わり議会の見える化へ」



テーマに基づき、議会広報の基本と編集について学びました。講師に議会広報サポーターの芳野政明氏を招き、議会広報誌発行の意義・目的、編集方針など、様々な内容において講義を受講しました。

(議会広報特別委員会
委員長 丸山 敏雄)

川場は子育てパワースポット 「四男一女日々大騒動です」

佐藤邦子さん

私の出身は沼田市。埼玉県出身の夫が「川場に住みたい」と住み始めたのは今から11年前、結婚5年目でした。お互い仕事（当時、現渋川医療センターの看護師）は充実していましたが、子供ができません、夫婦2人で生きていくのだと思っていました。しかし川場に住み始めて1年後、第1子長男が生まれ、二男・三男と三人兄弟になりました。

三男のこども園入園を機に、川場デイサービスへ働きはじめた矢先、双子の妊娠が発覚。高齢出産、双子というハイリスク妊娠でしたが、職場や家族のサポートで、2022年8月、四男、長女、ともに2700gで誕生。村から出産祝い金130万円をいただいたので、夫は半年間の育児休業を取



得してくれました。また、上の子の同級生のママ達や職場の方、ご近所の方からは、子ども服、ベビー用品を多数いただきました。野菜や芋・リンゴ・ブドウ・お米に至るまで、充実のラインナップでおおす分けいただき、本当に助

かっています。

川場村では地域ボランティア、学校、こども園と連携しながら子育てを応援してくださっているのだと、日々実感しています。長男は「月曜遊び場」が好きで、学校を休みたくないと言います。また、学校予定を見て「よっしゃ、今日、『読み聞かせ』だ」と、元気に登校していきます。子どもたちが楽しめるよう準備してくださっているのだからと感じます。

先日、二男の小学校入学前検診の際、地域学校協働活動委員の方々が公演をしてくださいました。「いつでも、相談や、話だけでも」と、楽しい雰囲気です。保護者へのフォローの場所と時間を提供してください。

二男と三男は、こども園で大根を収穫し、得意げに、大根を引きずって帰宅します。どちらの大根が大きいかで兄弟げんかしますが、夜には互いの大根の味を褒め合って夕食を食べます。親だけではさせてあげられない体験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

一日中、交互に、時には同時に泣く生後5か月の育児は、3人の育児経験をもってしても、大変です。乳幼児の育児中は外出する機会も減り、孤独です。田園プラザへの納品（田園プラザとふじやまビレジに、はちみつ・手芸品を納品中）の際、声をかけていただくだけで、本当に気分転換になります（そして、収入にもなります）。今後は民生委員・役場主催の子育てサロン・やんちゃクラブにも参加していく予定です。これからもどうぞよろしくお願いたします。

編集後記

暮れから寒波が続く、年明けは県内で新型コロナが猛威を振って1月5日には4155人を数え、県内総数39万人を超えてしまつた。受験生には感染しないよう祈るばかりです。

さて、新年の上毛新聞を見ると13面に「投票チャレンジ」がある。毎回小中学生6〜7人が載っており、当村の小、中学生が目につく。県内977校、子供数238千人を数える中に、川場の子が目に残まることは素晴らしいなと思った。本年も限らない御活躍と健康、そしてご多幸をお祈り申し上げます。



（編集委員）
津久井俊雄

編集委員

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 丸山 敏雄 |
| 副委員長 | 津久井俊雄 |
| 委員 | 黒田まり子 |
| 委員 | 角田 宣治 |
| 委員 | 新木 敏郎 |